

令和7年度 シラバス

科目名	単位数（時間数）	学科・学年	担当者氏名
デッサン	1 単位（30 時間）	理容科・1 学年	濱 千尋
学 習 目 標			授業の方法
【技術】 イメージを絵で表現することができる。 ヘア、メイクのデザイン、イメージを他に伝える手段を得る。 【見る力】 人体について理解する。 人の骨格を理解することによって、より高度な理容美容のテクニックを習得する。 【考える力】 芸術的素養を身につけ、広い理解と豊かな感性を持つことができる。 “創る”ことの意識を高め、スペシャリストとしての自覚を持つ。 【意欲】 コンテストに向けて、自主的に制作に取り組むことができる。 クラスメイトと切磋琢磨し、制作することができる。			講義
成 績 の 評 価 方 法			
作品提出による			
教 科 書		副 読 本	

学習指導年間計画（授業計画）

単元	授業内容	課題	履修時間
道具に親しむ	授業内容と目標の説明 道具の説明 鉛筆の削り方 グラデーション	課題1「グラデーション」（A4 ケント紙、鉛筆） 鉛筆で5段階のモノクロのグラデーションをつくる。 鉛筆の使い分けを覚える。 デッサンの基礎になる白～黒への滑らかな変化をつくるようになる。	2
人物の描き方 （基礎）	顔のプロポーション 人物画の描き方（正面）	課題2「人物正面（トレース）」（A4 ケント紙、鉛筆） 写真でモデルの輪郭をトレースし、鉛筆で着色。 前回のグラデーション技術の応用。 作業を通して人物のプロポーションを感覚的に覚える。	2
	人物画の描き方（正面） 講評会	塗り絵のような感覚で取り組めるので、比較的簡単に人物画を完成させ、満足感を感じることができる。	2
	デザイン画を描く手順 構図について 人物画の描き方（斜め）	課題3「人物斜め向き」（A4 ケント紙、鉛筆） 写真のモデルを見ながら、紙に鉛筆でデザイン画を描く手順を覚える。 前回までの技術の応用。 より本格的に絵を描く手順に近づける。	2
	人物画の描き方（斜め） 講評会	また斜めからの自分を描く作業を通して、さらにプロポーションの理解を深める。	2
	ヘアの描き方	課題4「ヘアスタイルのデザイン」 （A4 ケント紙 or A4 コピー紙、鉛筆） 人物の顔があらかじめ描かれたプリントに、ヘアを描き足していく。	2
	デザイン画 イメージの提案	課題5「デザイン画」（A4 ケント紙、鉛筆） コンテストを意識した小課題。 コンテスト規定より小さい A4 ケント紙に、鉛筆で各自が提案したスタイルを描く。	2
	デザイン画 講評会	このとき、作りたいイメージをどのように提案するのか「連想法」を学んだり、ベースになる人物モデルをトレースするなど、多くの手助けをすることで苦手意識を回避。	2

コンテスト用 作品制作	コンテスト説明・準備 デザインのための ワーク	課題 6「ヘアデザイン画コンテスト」(B3 ケント紙、鉛筆)	2
			2
			2
			2
	クラス内講評会		2
デザイン力と 明確なデッサン	ラフスケッチ	課題 7「ラフスケッチ」 2 人 1 組。 相手の要望に合わせて短時間に的確な提案をし、デザインを描く。	2
			2